

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日

令和 8 年 2 月 20 日

事業所名 こばんはうすさくら 盛岡中野教室

保護者等数(児童数) 26名 回収数 21件(割合80%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1			日によって、また、長期休暇によって利用者数が違うと思うが、利用者が多いときはせまいのではと思う。	活動内容によって、テーブルや椅子を片付け、スペースを確保して活動出来るようにしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20			1		お子さまへの支援が十分行えるよう、国の基準を満たした配置基準となっております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			1	見学のときに見ただけで忘れてしまった。	お子さまによって、顔写真付きや漢字表記のネーム等を準備し、分かりやすい視覚提示を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21					
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21				毎回適切で素晴らしいと思う。	いつも面談へのご協力ありがとうございます。引き続きよろしくお願ひいたします。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	21					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1			とても工夫されている。	曜日ごとに偏りがないよう、今後も様々な活動に取り組んで参ります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5		5	11	放デイでそこまで求めてはいない。	放課後児童クラブや児童館等との交流は行っておりませんでした。今後、必要に応じて検討して参ります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21				・とても積極的に提案されていると思う。 ・平日に開催は難しいと思うが、ペアトレと保護者会に参加してみたい。	日程につきましては、様々な案を検討していきたいと思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	21				とてもできていると思う。学校との連携もできていると思う。	今後も、連絡帳や送迎時のお話の中でもご様子を共有出来ればと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1				保護者様が安心して相談出来る環境作りを行い、いつでもお話を伺える体制を整えて参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2		10	開催日がだいたい土曜日なので仕事で参加できない。兄弟で、教室別で通っているので、それぞれ別教室に預けて行くことができない。	必要に応じて保護者様同伴で待機出来る部屋を設けることが出来ますので、参加ご検討の際はご相談ください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			3		相談や申入れがあった際には、迅速かつ適切に対応出来るよう、職員間で情報共有と体制確認を行っています。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			1	お子さまには短い言葉で伝え、視覚提示等を用いたがら支援しています。また、保護者様とは連絡帳や送迎時のやり取りの他、電話でご様子についてお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	2		3	活動の様子や支援プログラムはブログで月に一度更新していますのでぜひご覧ください。自己評価の結果等はホームページに掲載しますのでご確認ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	20			1	個人情報の取り扱いについて、管理の仕方等十分に気を付けて参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			2	事業所内にマニュアルがございますので、いつでもご覧いただくことが可能です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			2	月に一度避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		2	安全計画を基に、お子さまの安全確保に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1 軽い怪我でも十分な対応、心配をしていただいた。	事業所内で怪我等があった際は、今後もその都度経緯を説明させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20			1 大好きで、一度も嫌がったことがない。	いつもありがとうございます。今後も楽しみながら療育出来る環境を整えて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1		・大満足。 ・中野教室に仲間入り出来て良かった。 ・本人の成長と共に、支援の内容のレベルは少しの足りないかもと思うことがある。	今後もお子さまの発達段階に合わせた活動や支援内容を取り入れられるよう、努めて参ります。

公表日

令和 8 年 2 月 20 日

事業所名

こばんはうすさくら 盛岡中野教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	活動内容によって、テーブルや椅子を片付けてスペースを確保している。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		利用児の年齢や発達段階に合わせて、顔写真付きのネームや漢字表記のネーム作成等を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・毎日の掃除、消毒の徹底 ・定期的な教材室の整理整頓	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		利用児の状態を見ながら、必要に応じて静養室での過ごしを取り入れている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		月例会議で、課題点や改善点を話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修案内を通知し、希望者は受講出来るよう環境を整えている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページに掲載し、公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		適宜職員間で情報共有を行い、アセスメントした結果を支援計画に反映させていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		発達支援ツールの活用と、日々の行動観察から利用児の状態を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		曜日で偏らないよう調整し、利用児の様子を振り返り満遍なく活動に取り入れるようにしている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼で当日の活動内容を共有し、役割分担や対応の仕方について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2		送迎等で不在の場合もあるが、職員間で気付きを共有し、職員の資質向上に努めている。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	・業務日報の記入 ・必要に応じて別紙で記録を記入する	当日の日報記入の担当者だけの視点ではなく、職員全員で加筆修正していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	6ヶ月に一度、児童発達支援管理責任者と専門的支援職員で面談を行い、計画の振り返りと見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	児童発達支援管理責任者の他、専門的支援職員や直接支援に携わる職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	病院受診の際に、事業所での様子を保護者様経由で資料として提出している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	学校の連絡網メールで情報を得たり、送迎時に必要な連絡調整を行うことが出来た。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	相談支援専門員を通じて情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		
保護者への説明等	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	連絡帳に事業所での様子を記載し、送迎時にもお伝えして情報を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	法人内で行われているペアレント・トレーニングのご案内を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	契約時に説明を行い、随時変更等があればその都度説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	児童発達支援管理責任者が6ヶ月に一度モニタリングの実施・計画の見直し・保護者様への内容説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	法人内で保護者会を開催し、交流の場を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	電話や面談でお話を伺った後、事業所内で職員への聞き取りや状況整理を行う。整理した内容を、保護者様にお伝えしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	月に一度、活動の様子等をまとめたブログを更新して情報発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		事業所で行事を企画した際は、地域住民の方々にお声掛けをしていく。

	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		定期的に研修を実施し、発生を想定した訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		定期的な研修の他、月に一度利用児と避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		契約時や服薬変更等がある際に適宜保護者様からお聞き取りし、薬の説明書等のコピーを取って職員間で共有している。	
非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8		該当利用児がいる際は、職員が分かるよう一覧にして掲示する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット発生時は職員間で共有し、再発防止のための話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的に研修を行い、自分たちの関わりを振り返る機会を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			